

## 神奈川大学派遣交換留学生 近況報告書（初回）

所属	外国語学部	国際文化交流	学科 専攻
派遣先大学 (国)	カリフォルニア大学アーバイン校 (アメリカ)		
所属プログラム・ 学部・研究科	10week ESL Extension		
報告書提出日	2019年	10月	25日
留学予定期間	2019年	10月～	2020年 3月

### 1. 渡航について

#### 1.1. 出発前の準備

出願料・宿舍デポジット： 250（ドル）/合計  
 航空券代： 220,000（円）/合計  
 ビザ申請関連費： 200（ドル）/合計  
 その他（ ）： （ ）/合計  
 ビザ取得の際に残高証明書は必要でしたか？ いいえ

5月上旬に大学から入学許可証が届く  
 5月中旬に VISA 面接の予約をし、5月下旬に VISA 面接を受ける  
 VISA 面接の所要時間は待ち時間など全ての時間を含めて1時間程度  
 ネット申請に時間がかかり事前に YouTube などで見とくと楽です  
 7月上旬に VISA が自宅に届いた  
 7月下旬に寮の予約をする  
 8月に航空券を発券し、中旬には SiM についてお店に聞きに行った  
 ネットで調べてみるよりも自分で店で聞いた方がはやいと思います  
 8月中旬にさらに寮から賃貸同意書がメールで届く  
 困ったことがあったら躊躇せずメールなどしたらキチンと返ってくる

#### 1.2. 渡航について

行きは羽田空港から直行便でロサンゼルス空港まで行きました。  
 日にちを前倒しでチェックインすることが出来なかったのととりあえず2泊分ホテルを取り、  
 Uber でサンタアナのホテルまで向かいました。  
 空港からホテルまで1時間くらいで60ドルくらいかかりました。  
 チェックイン当日は昼頃に寮に着きました。

### 2. 到着後の手続きについて

#### 2.1. 寮・ホームステイ等への入居手続き

3ヶ月分の家賃を現金で支払うために寮の電話にかけるとまず大学内にある University Center に来てほしいと言われる。  
 家賃を大学内にあるオフィスで払った後に寮に向かい、注意事項を聞いたり、鍵を受け取ったりしました。

支払い方法は現金かクレジットでしたがクレジットは手数料がかかるのでやめました。  
事前に損害保険として800ドル支払いました。

寮に入るとハウスメイトを紹介されました。  
食器やお風呂場などはすべて共有でした。  
ルームメイトがいるのかなと思いきや1人部屋に案内され1人で住んでいます。

## 2.2. 滞在許可・外国人登録の手続き

特になし

## 2.3. オリエンテーション・学生登録・プレイスメントテスト等の学内手続き

10/2 プレイスマンテスト:結果は翌日に発表

履修登録に関してはレベル別で決められていたためやる必要なし

10/3 オリエンテーション 授業での評価の仕方や、アクティビティや施設についての説明を受ける

10/7 授業開始

歓迎会などは特になかった

## 3. 目標について

### 3.1. 留学の目的、達成目標

TOEIC700点を越えること、海外が初というのもあり海外の生活に慣れること、日常会話をすべて聞き理解できるようになることが目標。スピーキングが個人的には1番の課題であるため、長い文章を話せるようになるというよりは、日常生活での会話や返答に困らないくらいの語学力は身につけたい。

### 3.2. これまでの学習・研修目標および達成度について

特に留学前に勉強はしていなくて、留学先に着いてからは毎日英語の長文を1つ読み、毎日外国人とお話をする時間を自分の中で設けている。やはりスピーキングとリスニングに課題があるため日本人以外となるだけ話すようにしたい。少し日本人と群れてしまった。先輩にとにかく輪を増やせということや、映画を英語音声英語字幕で見て始めはできなくて当たり前だから慣れていけなどとアドバイスをいただいたのでこれらも参考にしていきたい

### 3.3. 今月の学習・研修目標

スピーキングを1番伸ばしたいため、先輩などに聞くと外国人と話すのが黙々とやるより伸びると教えてくれたので、自分から誘うようにして話す機会を自ら増やしていきたい。ある程度学校にも慣れ、生活にも慣れてきたので、1週間の予定(ex.月曜:放課後に2時間外国人とお話をする等)を細かく立てて英語に触れる機会というのを前月よりも増やしたい

## 4. 学修について

### 4.1. 授業時間割

現在の学期	前学期
月	Reading/Vocabulary(13:00-13:50),Speaking/listening(14:00-15:20),Writing/Grammar(15:30-16:50)
火	上に同じ
水	上に同じ
木	上に同じ
金	上に同じ

土	休み
日	休み

#### 4.2. 授業について

- Reading/Vocabulary 50分/一コマ**  
 教科書を使った長文読解と小節を使った長文読解をしている。  
 講義形式のような形。教科書の難易度はそこまでだが小説が異常に難しく予習の段階でかなりつまずく。進度や理解度に関しては困ることはないペースである。
- Speaking/Listening 100分/一コマ**  
 ディスカッションが多め。  
 毎回スピーキングパートとリスニングパートの時間がある。  
 スピーキングパートではペアで会話や、グループになって2分以上与えられたお題に関して紹介するなどといったことをやっている。リスニングパートでは TED や洋楽を使ったリスニングの問題を解いている。プレゼンも行う。スピーキングを伸ばすにはとてもいい授業だと感じている。
- Writing/Grammar 100分/一コマ**  
 ディスカッションもするし、講義形式で文章の書き方などについて教わっている。  
 ただ日本ですでに習ったことばかりでわりとレベルは低いと感じている。  
 文章の書き方や時制に関しての授業がほとんど。

#### 4.3. 予習・復習・自習について

- Reading/Vocabulary**  
 とにかく小説が難しいため大雑把に予習で理解し、授業で問題を解く時に話の内容を理解している。毎日宿題がなにかしら出るが教科書は普通の長文読解だったりイディオムの問題だったり難しいものはない。
- Speaking/Listening**  
 プレゼンが多くその準備がなにかと忙しい。  
 復習ではその日にやった YouTube や動画のサイトをメモし、家に帰ってもう一度聞いている。  
 スピーキングは基本即興で与えられたお題に関して話すので予習などはしていない。
- Writing/Grammar**  
 日本ですでに理解していることがほとんどなので予習も復習もほとんどしていない。

### 5. 生活について

#### 5.1. 衣食住について

住居	学外寮（その他： ）
<p>近くにダイソーや日本食スーパーがあり基本なんでも揃うためあまり持ってくる必要はない。          3週間目でなにか当たったのか4日間くらい腹痛が続いた→とりあえず薬を飲んで落ち着かせた。          友達のルームメイトの間で問題が起こりみんなで会議をして終息させた。          タバコやお酒に関しては日本よりはるかに厳しい。          食に関しては、お昼などは作らないと1回の食事で700円以上は基本的に持っていかれるので自炊はしなければならないと思う。</p>	

#### 5.2. 課外活動について

<p>休日は友達と出かけることが多い。1ヶ月のバスパスを買うと色々なところへ行けるので便利。またこちらには Uber でというサービスもあるので移動にはあまり困らないと思う。はじめは日本人でもいいので友達を作るために積極的にアクティビティには参加すると思う。ただ慣れてくるとやはり国同士で固まるようになってくるので、自分は学部生のサークル(友の会:日本文化に興味がある人たち</p>
---

が集まるサークル)へ行きネイティブの人と知り合いになるようにしている。そうするとささいなパーティなどにも呼ばれやすくなる。土日は宿題が多く出るわけではなく暇ではあるので毎週毎週どこかへ行く計画をして遊びに行っている。

### 5.3. 現在までの感想

中国やクウェートから来ている人たちがこのプログラムには多く少しそこには失望した。せっかくアメリカに来ているのならネイティブの人やヨーロッパの人など英語の発音が聞き取りやすい人たちと居たかった。中国人やクウェート人はなまりが強いためすごく英語が上手いように聞こえてしまうが実際に聞くと難しい表現はしていないし、なんなら日本人でも話せる内容である。やはりそこで感じたのは日本の英語に対する教育制度の問題。日本人は世界から見ても頭がいいと思うし、能力はあると思う。ただ小さい頃からの強いられてきた教育のせいで文法などは明らかに強いがスピーキングが圧倒的に弱すぎる。プレゼンでも原稿を見ているのは日本人だけ。なんとか将来この教育方針を変えたいなど少し感じる部分があった。また始めは授業中に中国語などが飛び交って行ってうるさいなと思っていたけど話してみると日本に興味を持っている人が多く、お互いに日本語と中国語を教え合うようになり、話していくうちに中国に対して持っていたイメージが自分の中でプラスに変わった。

以上

## 神奈川県派遣交換留学生 近況報告書 (12月)

所属	外国語学部	国際文化交流学科	学科 専攻
派遣先大学 (国)	カリフォルニア大学アーバイン校 (アメリカ)		
所属プログラム・ 学部・研究科	10week ESL Extension		
報告書提出日	2019年12月16日		

### 1. 目標について

#### 1.1. 留学の目的、達成目標

TOEIC700点を越えること、海外が初というのもあり海外の生活に慣れること、日常会話をすべて聞き理解できるようになることが目標。スピーキングが個人的には1番の課題であるため、長い文章を話せるようになるというよりは、日常生活での会話や返答に困らないくらいの語学力は身につけたい。

#### 1.2. 先月の学習・研修目標および達成度について

11月の学習については10月の学習とはほぼ変わらなかった。リスニング強化のために毎日 TED の動画を聞き日本語字幕や英語字幕、シャドーイングを通じてリスニングを伸ばしていこうと意識してやった。スピーキングに関しては普段の会話量を増やすことにした。具体的には食事やジムに行く際に日本人だけでなく日本人以外の人を誘うようにした。なかなか感触はよかったので続けていきたい。

#### 1.3. 今月の学習・研修目標

今月はほぼ毎日テストがあり家に帰ってからの学習がすごく大変だった。ただこの時点で成績は十分だったのでテスト自体には気楽に向かうことができた。今月は半分以上が休みなので過ごし方には十分意識していきたい。インプットももちろん大事であるが先月を通じてアウトプットが非常に満足感や成長を感じられるのでそこは意識して一ヶ月の休みを過ごしていきたい。

### 2. 学修について

#### 2.1. 授業について

##### ・ Reading/Vocabulary 50分/一コマ

教科書を使った長文読解と小節を使った長文読解をしている。

講義形式のような形。教科書の難易度はそこまでだが小説が異常に難しく予習の段階でかなりつまづく。進度や理解度に関しては困ることはないペースである。

##### ・ Speaking/Listening 100分/一コマ

ディスカッションが多め。

毎回スピーキングパートとリスニングパートの時間がある。

スピーキングパートではペアで会話や、グループになって2分以上与えられたお題に関して紹介するなどと言ったことをやっている。リスニングパートでは TED や洋楽を使ったリスニングの問題を解いて

いる。プレゼンも行う。スピーキングを伸ばすにはとてもいい授業だと感じている。

・ **Writing/Grammar 100分/一コマ**

ディスカッションもするし、講義形式で文章の書き方などについて教わっている。ただ日本ですでに習ったことばかりでわりとレベルは低いと感じている。文章の書き方や時制に関しての授業がほとんど。

## 2.2. 予習・復習・自習について

### Reading/Vocabulary

とにかく小説が難しいため大雑把に予習で理解し、授業で問題を解く時に話の内容を理解している。毎日宿題がなにかしらでるが教科書は普通の長文読解だったりイディオムの問題だったり難しいものはない。

### Speaking/Listening

プレゼンが多くその準備がなにかと忙しい。

復習ではその日にやった YouTube や TED のサイトをメモし、家に帰ってもう一度聞いている。スピーキングは基本即興で与えられたお題に関して話すので予習などはしていない。

### Writing/Grammar

日本ですでに理解していることがほとんどなので予習も復習もほとんどしていない。

## 2.3. 語学力について

語学力に関しては、リスニングが伸びたような実感はある。こちらに来たときは店に行くのも少し怖いぐらいだったが今は一人でも買い物ができるようになったし店員の言っていることがある程度聞き取れる自信がついたからだと思う。話すことに関してはマンネリ化しないように同じことを言いたい時でも違う表現をできるだけ使おうとするなどの工夫はしている。問題点はもちろんたくさんあるが自信をもって何事も望めば臆することはないと感じた。日本人には日本人の英語の発音などがあることを聞き手も理解してくれるだろうから。

## 3. 生活について

### 3.1. 衣食住について

住居	学外寮（その他： ）
----	------------

食に関しては、外食は一週間に一回くらいで、基本的に朝は家で食べて昼は持って行って夜も作るという感じに落ち着いた。

住居に関しては一人新しいルームメイトが来て少し賑やかに。

雨はほとんど降らないと言われていたが、何回も雨の日を経験した。

冬が近づくとつれて気温がぐっと下がりアウターなしで朝や夜を生活するのは割と厳しい。

### 3.2. 課外活動について

来たときの当初と比べてアクティビティに参加する機会は格段に減った。初期の頃はコミュニティなどを意識して過ごしていたが後半になってくればある程度はみんなと知り合いになるし関係にマンネリがなくなるようになってきた。休日は家にいるのがもったいないと思っているので積極的に声をかけていろいろなところに出かけた。旅行に関してもアクティビティで行くというよりは自分たちで計画して出かけることが多くなった。

### 3.3. 現在までの感想

特に生活で大きく変わったことはない。次第に仲のいい外国人も増えてきてこれからの生活も非常に楽しみである。ただやはり物価が日本と比べて高いためかお金をすごく使っているのもう

少し節約を心懸けたい。まずは1 Semesterが終わり感じたことはアウトプットの大切さ、また語学力を伸ばすためには外国人との会話量を増やすのももちろんであるがそれ以前に自分の行動力を磨くべきだなと感じた。そもそも機会を増やすには自分から仕掛けていかないと全員が全員フレンドリーというわけではないし、語学力を伸ばす上でも大事な事だな痛感した。

以上

## 神奈川県立大学派遣交換留学修了報告書

所 属	外国語学部	学科	国際文化交流学科	4 年次
派遣先大学 (国)	カリフォルニア大学アーバイン校 (アメリカ)			
所属プログラム・ 学部・研究科	ESL 10weeks	履修言語	英語	
留学期間	2019年10月～2020年3月			
報告書提出日	2020年4月13日			

### 1. 学修について

#### 1.1. 学期区分

学期	授業期間	試験期間	履修登録するまでの過程
Fall 2019	10月7日 ～12月12日 (10週)	12月9日 ～12月12日	始めにプレイスメンステストを受け、結果を受け取り点数でレベル分けされた。履修登録はなかった。すでに授業の日程が組まれていた。
Winter 2020	1月13日 ～3月19日 (10週)	3月16日 ～3月19日	テストなどは一切なく、レベルが一つ上にあがった。履修登録もなかった。あらかじめ組まれている。

#### 1.2. 履修科目・内容

学期	履修科目名	合計時間	履修内容・授業での取り組み
		(内訳)	
Fall 2019	Grammar/Writing Level 4	83.5 時間	講義は月～金に100分。内容は教科書に沿って行っていた。 中間試験・期末試験の勉強としてはテスト範囲が教科書の中からだったため教科書の勉強したところを中心に復習した。
		1.67(時間/回) × 5(回/週) × 10(週)	
Fall 2019	Reading/Vocabulary Level 4	41.5 時間	講義は月～金に50分。教科書・小説を使って授業を進めていく。毎週月曜に小説のテストがあった。 基本的には教科書の内容がメインで、期末試験なども教科書からの出題が多くあった。
		0.83(時間/回) × 5(回/週) × 10(週)	



Fall 2019	Speaking/Listening Level 4	83.5 時間	講義は月～金に 100 分。スピーキングパートとリスニングパートに分け毎回授業を行っていた。グループや一人でディスカッション、洋楽の聞き取りなど。プレゼンが主な評価対象。与えられたお題に対し短い時間で準備をし、スピーチするというテストも。
		1.67(時間/回) × 5(回/週) × 10(週)	
Winter 2020	Grammar/Writing Level 5	83.5 時間	講義は月～金に 100 分。内容は教科書に沿って行っていた。中間試験・期末試験の勉強としてはテスト範囲が教科書の中からだったため教科書の勉強したところを中心に復習した。
		1.67(時間/回) × 5(回/週) × 10(週)	
Winter 2020	Reading/Vocabulary Level 5	41.5 時間	講義は月～金に 50 分。教科書・小説を使って授業を進めていく。毎週月曜に小説のテストがあった。基本的には教科書の内容がメインで、期末試験なども教科書からの出題が多くあった。
		0.83(時間/回) × 5(回/週) × 10(週)	
Winter 2020	Speaking/Listening Level 5	83.5 時間	講義は月～金に 100 分。教科書を中心に進めていき、それに関連したディスカッションが多めであった。評価に関してはプレゼンが大きなものであり、リスニングでは聞き取ったものをメモしたノートなども評価対象であった。
		1.67(時間/回) × 5(回/週) × 10(週)	

### 1.3.学修する上で心がけていたこと、予習復習の仕方について

復習は基本的にその日にやった教科書のページを振り返っていた。ただ一番大切にしていたのは、授業中に先生や同じ生徒がよく使う表現や言い回しをノートにメモし、自分も積極的に使おうと常に意識していた。そこらの参考書で英会話を学ぶよりはこのやり方のほうが確実に自分の力になっていると感じた。それに加えて、TED や BBC などを毎日聞いたり読んだりすることでとにかく毎日英語に触れあう機会を一人の状態でも増やす努力をしていた。

### 1.4.語学力について

語学力に関しては特にリスニングに伸びを感じた。現地に着いた当初は自分から話しかけることも怖く、正直英語を聞き取るのも全くで、入寮の説明はほぼ何を言っていたのか分からなかった。しかし半年の留学を通じて自分の力、特に対応力的な面で成長を感じた。いまは話しかけられても動じることはないし、帰国の際に急に乗継便に変更されたが冷静に対処をした。少しハプニングもあったが自分の英語力で乗り越えられたのは成果であると思った。留学中は語学力を伸ばすために、会話を意識していた。自分で教材などと向き合うよりもネイティブの人や日本人以外の人と話すほうが生の英語というものを語感を通じて体験できるし、やはり日本においては滅多にできることではないので、アクティビティに参加したりと自ら機会を掴んでいこうと行動した。

## 2. 留学の成果を振り返って

### 2.1. 学修の成果

大きく自分の力になったと思うのは英語でのプレゼン力であると思う。もちろんまだまだ伸びしろがあるのは当然ではあるがこの半年間の期間で何回か行ったプレゼンによって成長を感じた。最初のころは原稿を丸覚えして、言葉が飛んだときのために原稿も手に持っていた。でもそれが回を重ねていくごとになくなり、最終的には原稿を持たず、丸覚えというよりは大事なキーワードだけを覚え、その場で文章を作って図を説明したり、アイコンタクトを意識したりと、英語力と共にプレゼン力も身に付いたのはとても大きなことであると思う。他生徒のプレゼンを聞いていて、プレゼンで使える英語も多く学ぶことができた。さらに聞き返すことや分からなかったことに対してしっかりと質問を投げかけるのも英語力向上の一つの過程であると感じた。やはりネイティブではないため必ず一回で聞き取れるわけではないから英語を正しく聞き取るという意味でも大切だし、そこから話が広がるということも多々あるので日本人的な性格を捨てて、自発的に聞くという重要性も学んだ。

### 2.2. 学修面での反省点ならびに留学志望者へ学修面のアドバイス

学習面でのアドバイスをするならただ一つ。自分から行動ということを伝えたい。英語を話したいと思っているだけではこれっぽっちも話せるようにはならない。自分が行動を起こし、そのチャンスをつかまなければならないと思った。基本的に授業の合間や、放課後など知り合いの先生や友達に会っても一言あいさつを交わすだけのことがほとんどである。そんなことは誰にでもできるし、留学に行っている意味がないと感じた。そこで前進するためにもご飯に誘ってみたりとか、自分から今日はこんなことがあったなどと話題を振るだけでも相手はこっちを向いてくれるし、真摯に自分が頑張っているのを聞いてくれたり、理解してくれようとしてくれるため、そこは恐れず自分の殻を破ることが大切である。始めのほうは話せない自分にイライラしたりすることもあったがその気持ちを持つことはとても大事なことであると思うし、一気に覚えようとしなくても一日一表現を覚えるだけでも十分だし、あまり自分を追い込まず気持ちを楽しんで臨むのがよいと思う。

### 2.3. 留学生活で得られたもの

留学生活で得られたものはいくつかあるが、最も感じたのは自分を持つということである。自分を持つというのは考え方のことである。日本人的な性格を捨てろなどということでもない。自分の意見を持つということである。例えば、自国の政治の話になった時にアメリカ人であれ、ヨーロッパの国の人であれ、同じアジアの中国・韓国の人たちも自分たち支持する政党やこれからの国の情勢に自分の意見を持っている。意見を言えていないのは日本人だけであった。分からないという意見を持っている人でさえも何かしらの情報や知識があり、考えの軸のようなものを持っていた。そこで感じたのはニュースを読んだりすることはいいと思うが、それを読んで自分が何を感じたか、そこから何を得たのかというひとつひとつのことに目を向けてみる必要があると思う。自分の意見を持つことでそれを国境を越えた人たちにシェアし、意見をお互いに交わすことで視野が広がるということにも繋がるなど留学を終えて得られた考え方である。

#### 2.4. 留學生活での反省点ならびに留學志望者へ生活面のアドバイス

ホストファミリーに住む人たちにも言えると思うが、特にアパートや寮などを借りてシェアルームをする人はお互いの価値観をしっかりと理解することが大切である。国によっては日本人の視点からすると、それはおかしいなどと違和感を抱くこともあるが、そこは相手にどうしてそうなのかと聞くことでそれ自体が異文化交流に繋がるし、自分のためにもなると思う。

アメリカは特に物価が高いので必要のない外食は控えたほうがよかったなどは単純に感じた。移動をするにも車がなく、移動手段となると **Uber** か **Lift** しかなかったためお金の使い方というのが個人的には反省すべき点ではあるなと感じた。

さらに自分の周りや交流してきた人たちはそうであったが日本のことについて詳しい人や、僕が一番親しかったトルコの友達はアニメが大好きで意気投合した。日本に興味を持っている人はかなり多いし、日本語を教えてほしいという人も多くいたので普段から使う日本語スラングなどを英語で説明できるようにしておくことは大事であるなということ伝えたい。

## 派遣交換留学中の生活等に関する調査

記入日	2020年4月13日	
派遣先国	アメリカ	
派遣先大学	カリフォルニア大学アーバイン校	
留学先での所属学部	<input type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等 学部名：( ) <input checked="" type="checkbox"/> 語学研修 <input type="checkbox"/> その他 ( )	
本学での所属	外国語学部	国際文化交流学科・専攻
学年	3年次 (留学開始時の学年)	
	3年次 (留学終了時の学年)	
留学期間	留学開始年月 2019年10月 ~ 留学終了年月 2020年3月	
	留学期間 6ヶ月間	

### I. 留学先での住居について

1	住居形態は 何でしたか？	<input type="checkbox"/> 学内寮 <input checked="" type="checkbox"/> 学外寮 <input type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> 民間アパート <input type="checkbox"/> その他 ( )
2	部屋の形態	<input type="checkbox"/> 個室 <input checked="" type="checkbox"/> 相部屋 (同居人数 3人)
3	住居形態の詳細を教えてください。	(一人部屋、部屋数は3、全員中国人だった )
4	入居時手続き	( オフィスで三か月分の家賃を現金で支払い、鍵を受け取る )
5	費用 (月額)	( 100,000 )円
6	食費 (月額)	<input checked="" type="checkbox"/> 自炊 <input type="checkbox"/> 食堂 <input checked="" type="checkbox"/> 外食 <input type="checkbox"/> その他( )円
7	支払方法	( クレジットカードでタームごと一括支払い )
8	住居に附属する設備	<input checked="" type="checkbox"/> 洗面所 <input checked="" type="checkbox"/> トイレ(共同) <input type="checkbox"/> トイレ(個別) <input checked="" type="checkbox"/> シャワー(共同) <input type="checkbox"/> シャワー(個別) <input type="checkbox"/> 浴槽 <input checked="" type="checkbox"/> 冷暖房 <input checked="" type="checkbox"/> 台所 <input type="checkbox"/> 食堂 <input checked="" type="checkbox"/> ジム <input checked="" type="checkbox"/> 洗濯機 <input checked="" type="checkbox"/> 乾燥機 <input checked="" type="checkbox"/> その他 ( 娯楽施設、プール、BBQ場 )
9	住居選択方法	<input type="checkbox"/> 大学に申込 <input type="checkbox"/> 留学先大学の斡旋 <input type="checkbox"/> 友人・知人の紹介 <input type="checkbox"/> 不動産業者・新聞を通じて <input checked="" type="checkbox"/> インターネット <input type="checkbox"/> その他( )
10	周囲環境	( 近くに大きなスーパー、薬局、フードコートあり )
11	アクセス	(大学までバスで約10分、そこから徒歩5分)

### II. 通信環境について

1	日本キャリアの携帯電話	持参しなかった
2	現地キャリアの携帯電話	加入式 (月額支払)
3	現地携帯電話の取得手続きの方法	( )
4	自宅のインターネット接続環境	無線 (大学または寮へのLAN接続)
5	大学内インターネット接続環境	無線 (大学または寮へのLAN接続)

### Ⅲ. 留学費用について

諸経費（1ヶ月の平均）			
1	宿舎費	1,000 /月	備考（ドル）
2	食費	600 /月	備考（ドル）
3	交通費	100 /月	備考（ドル）
4	通信費	40 /月	備考（ドル）
5	娯楽費	200 /月	備考（ドル）
6	図書費	0 /月	備考（ドル）
7	学用品（教科書など）	30 /月	備考（ドル）
8	被服費	10 /月	備考（ドル）
9	医療費	0 /月	備考（ドル）
10	雑費・その他	50 /月	備考（ドル）
上記以外にかかった大きな金額の内訳（留学準備期間含む）			
11	出願料・宿舎デポジット	800 /月	備考（ドル）
12	ビザ申請関連費	800 /月	備考（ドル）
13	航空券代（休暇時旅行費用は除く）	2,000 円/月	備考（ドル）
14	その他	円/月	備考（ ）
15	<b>留学全日程に要した総額（概算）</b>	1,000,000 円	合計
お金の持って行き方			
16	<input checked="" type="checkbox"/> 現金（渡航時：300,000 円） <input type="checkbox"/> 国際キャッシュカード（銀行名： ） <input type="checkbox"/> 海外送金 <input type="checkbox"/> クレジットカードからのキャッシング <input type="checkbox"/> その他（ ）		
17	現地で銀行口座開設	してない	

### Ⅳ. 保険・医療について

1	海外旅行（留学）保険の種類	B19 プラン （6か月分で 65,000 円）
2	留学中に病気・けが等をし、通院・薬の処方を受けましたか？	いいえ

### Ⅴ. 持ち物について

1	日本から持っていったもの
	衣類、PC、日用品、薬、インスタント系の食類
	現地で購入したもの
	日用品（シャンプー・掃除用品・収納用品）

### Ⅵ. 留学先で困ったこと

違う国の人とのルームシェア
---------------

### Ⅶ. その他、後続の学生へのアドバイス

日用品などは周りに売ってあるので、向こうで揃えられる。ただ物価が高い。
-------------------------------------